

# 地域包括ケアシステム構築に向けた取組

一生住み続けたい最幸のまち・川崎をめざして



川崎市

「地域包括ケアシステム」とは



“つながり・連携・支え合い”  
の仕組みづくりのこと

平成28年4月14日 熊本県熊本地方を震源とする地震



平成23年3月11日 東日本大震災が発生





平成23年3月11日 東日本大震災が発生



## 1 我が国の急速に進展する高齢化

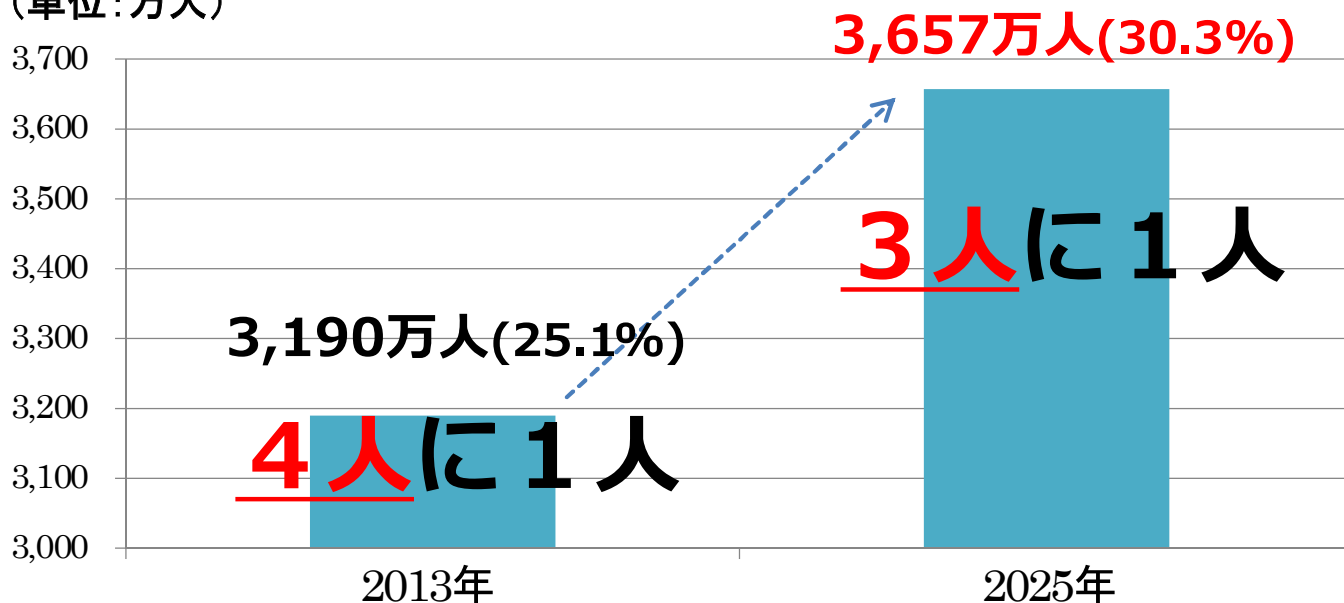
### 2025年問題とは・・・

**団塊の世代が75歳以上になり、介護や医療費等の社会保障費がさらに増加するという問題**

## 2 我が国の急速に進展する高齢化

### 日本全体における65歳以上人口と比率

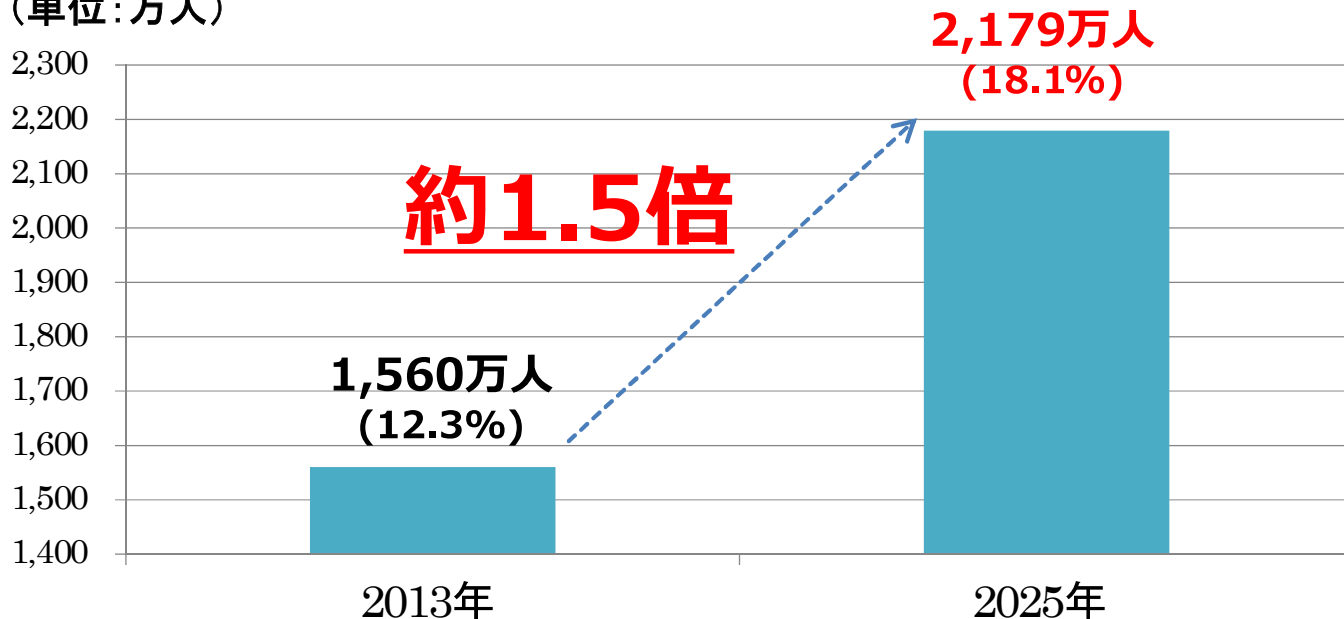
(単位:万人)



## 3 我が国の急速に進展する高齢化

### 特に75歳以上人口と比率の急増

(単位:万人)



## 4 我が国の急速に進展する高齢化

○一人暮らし高齢者（2010年 国勢調査）国ベース



**1 3 9** 万人  $11.1\%$   
(**10人**に1人)

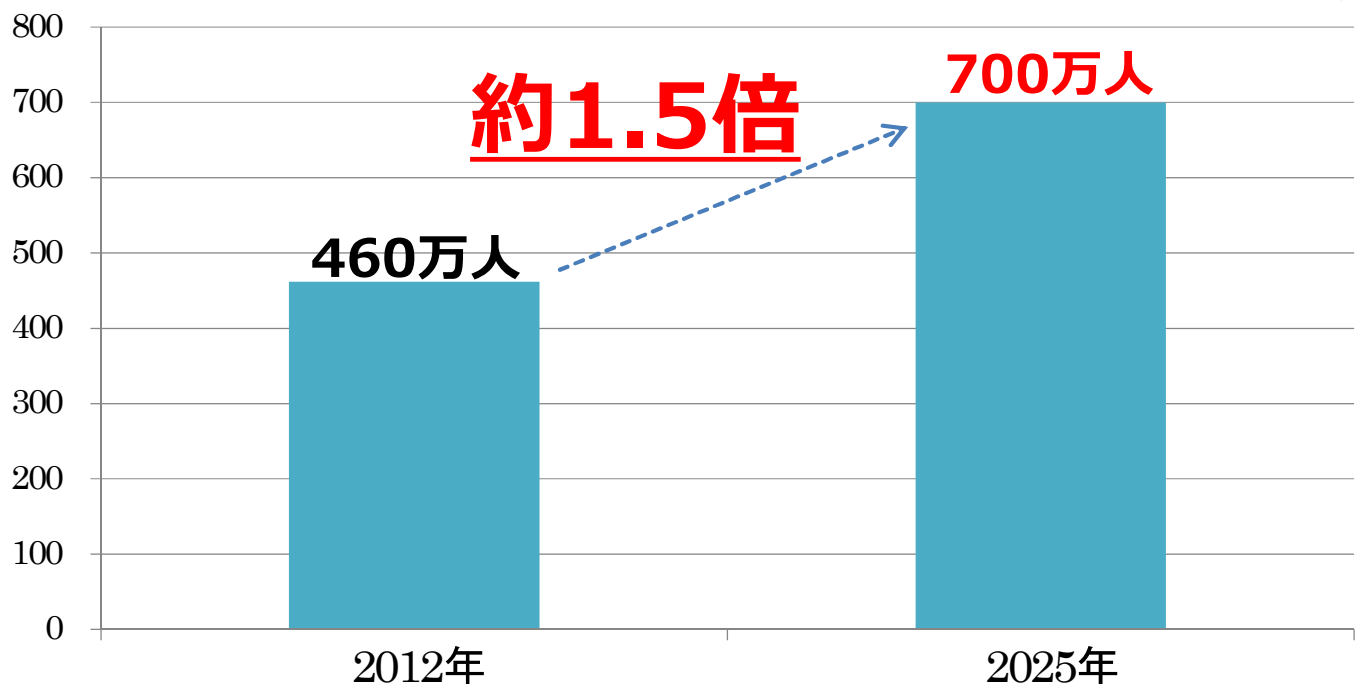


**3 4 1** 万人  $20.3\%$   
(**5人**に1人)

## 5 認知症の高齢者が急増

(単位:万人)

【認知症施策推進総合戦略】  
(新オレンジプラン)



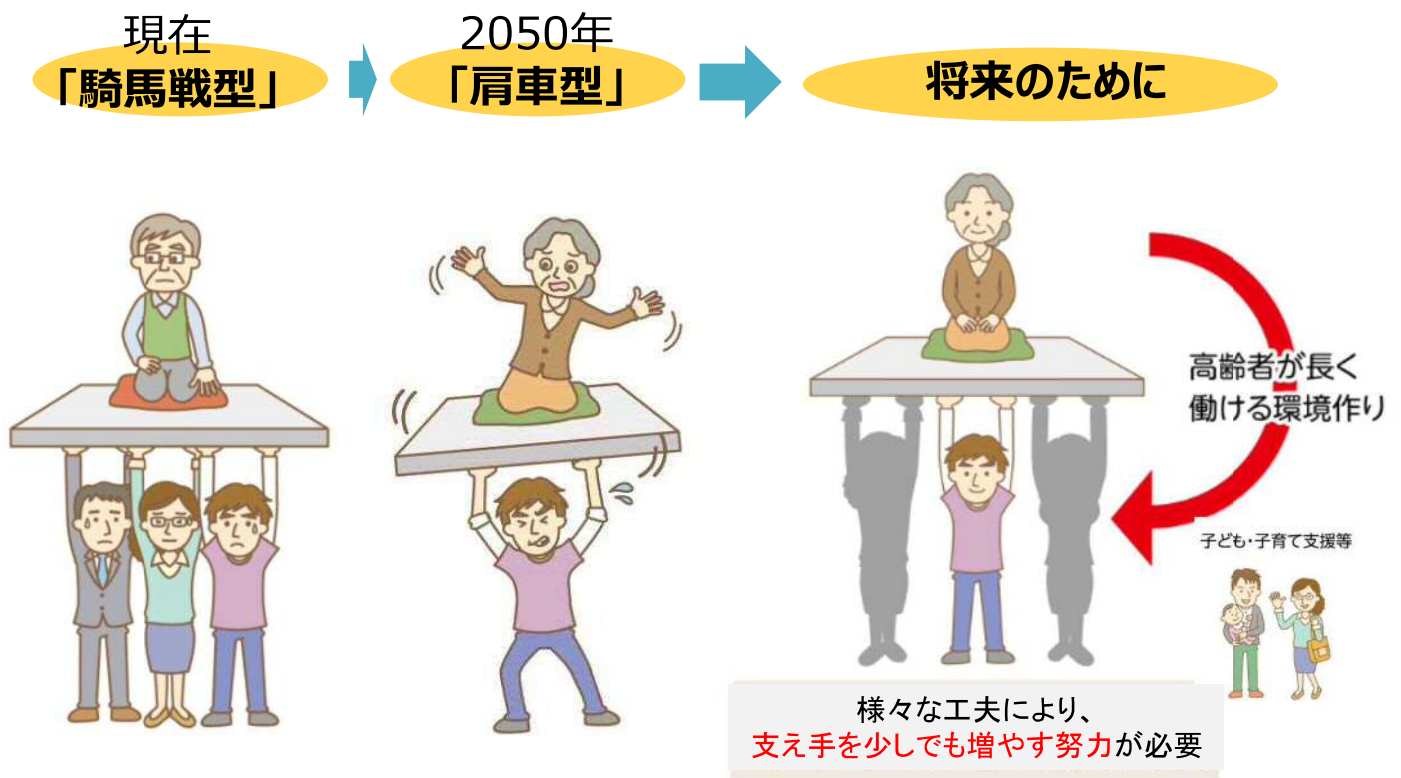
## 6 少子高齢化と人口減少

未来を担う子ども、稼ぎ手、担い手である  
生産年齢人口（15歳～64歳）が減少

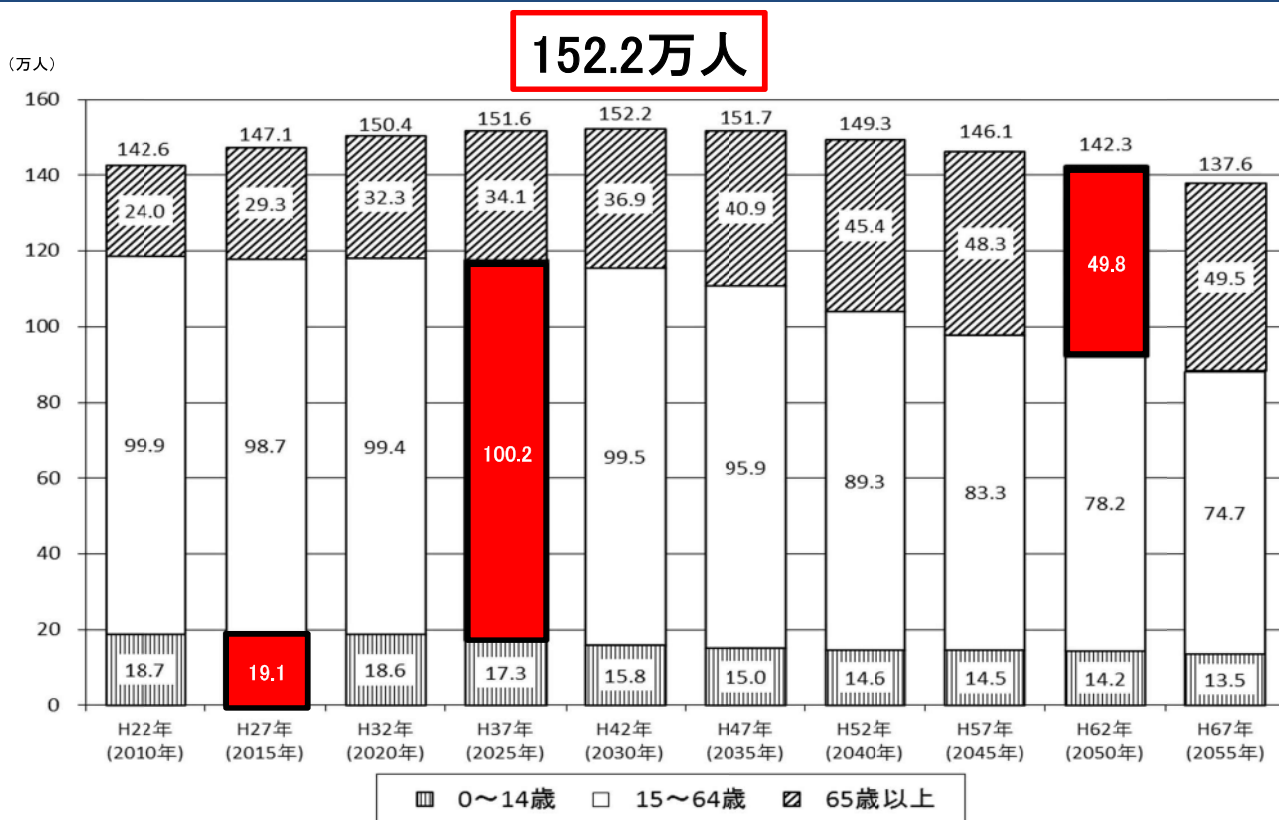


# 未曾有の人口減少社会に突入

## 7 少子高齢化社会で何が起きるか？



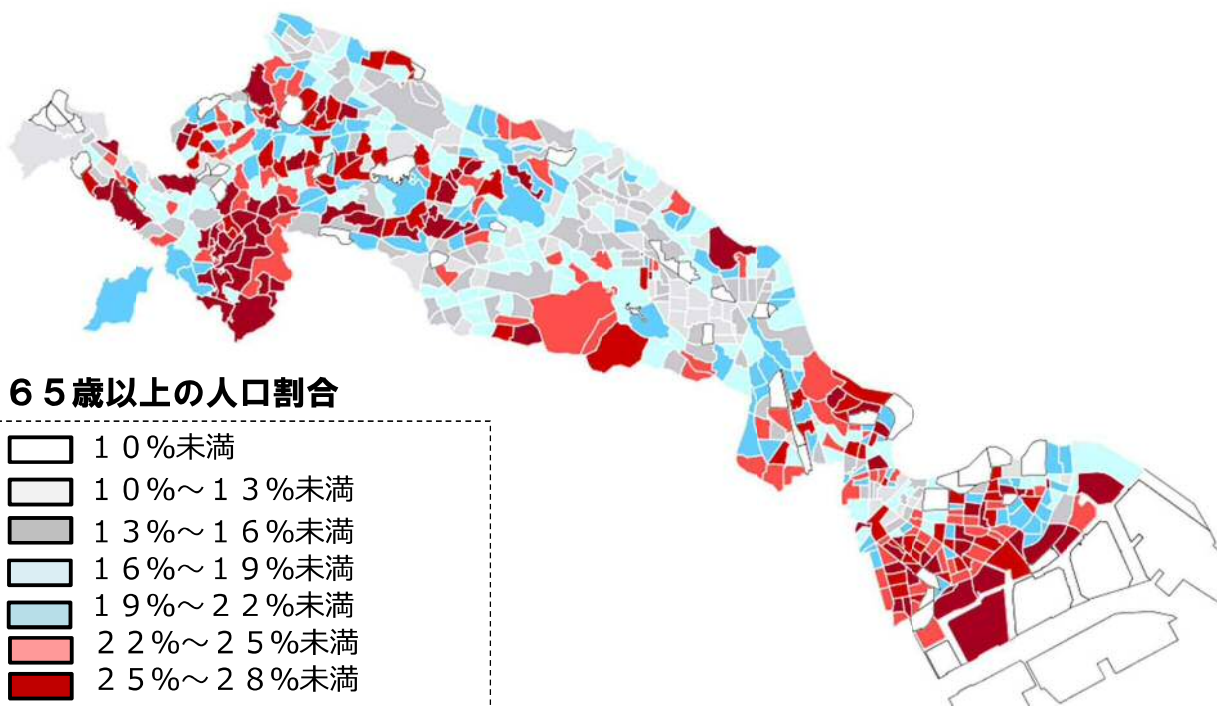
# 8 川崎市の少子高齢化の状況



資料: 川崎市将来人口推計

# 9 川崎市の特徴

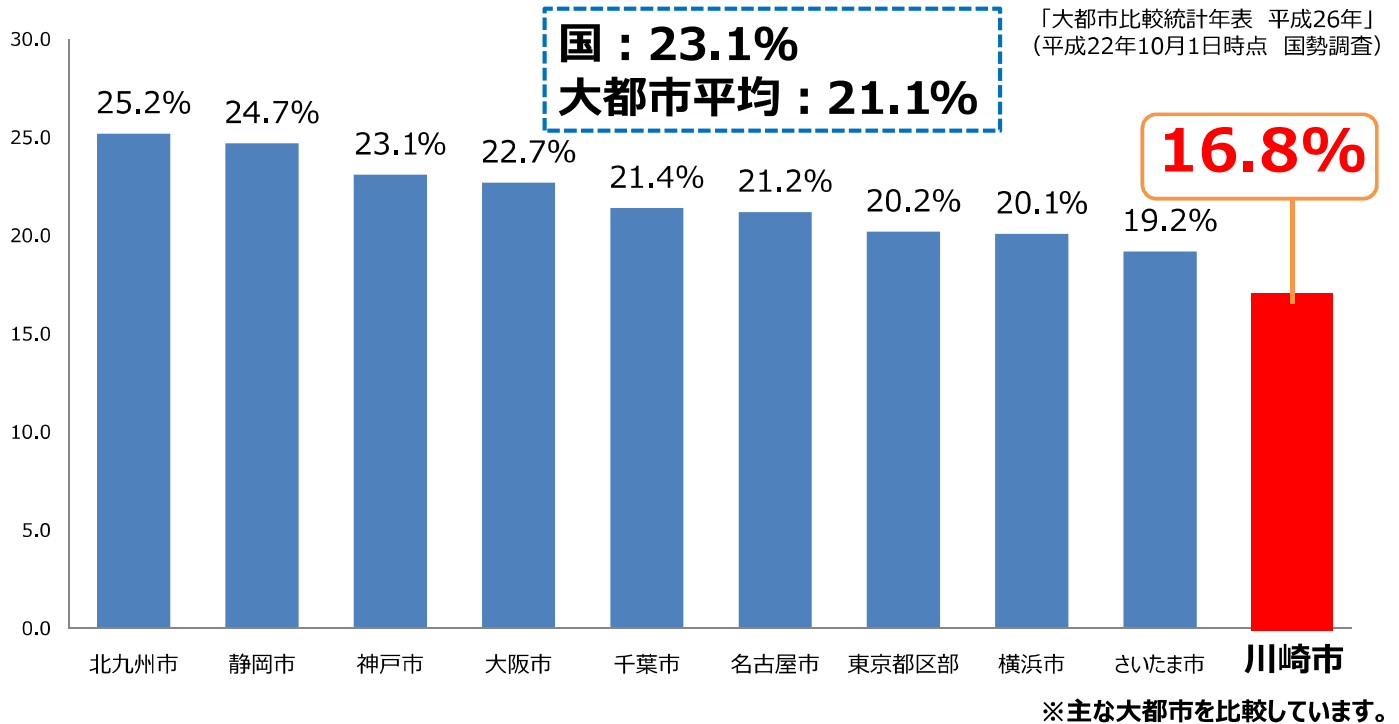
各地域によって高齢化率に違いがあるなど、地域性が大きく異なっている





# 10 川崎市の特徴

## 高齢化率 「大都市の中で最も若い都市」



# 11 川崎市の特徴

活発に活動をしているボランティア団体が多い。



【「プロボノ」企画打合せの様子】



【多摩川美化活動の様子】

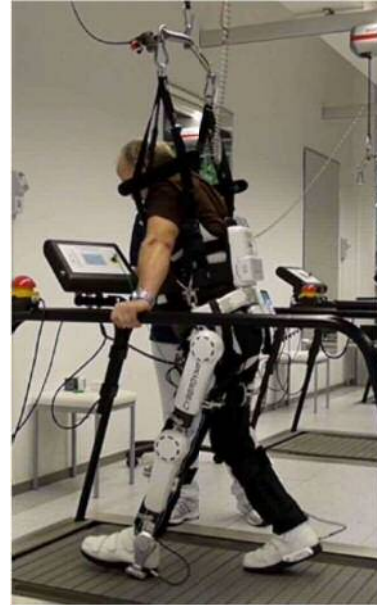


# 12 川崎市の特徴

## 高い技術力を持つ産業・研究機関などの多様な社会資源



キングスカイフロント



CYBERDYNEロボットスーツ「HAL」

# 13 川崎市の特徴（大都市比較）

## 20政令市と東京都区部から構成される21大都市間比較

「平成26年版 大都市比較統計年表から見た川崎市」から

・人口密度	10,122人/km <sup>2</sup>	※東京都区部及び大阪市に次ぐ過密都市	
・人口増加比率	0.81%	※第2位	} (元気な都市)
・出生率	0.99(平均0.85)	※最高位	
・自然増加率	0.29(平均△0.04)	※最高位	} (若い都市)
・死亡率	0.70(平均0.89)	※最低位	
・平均年齢	41.5歳(平均43.9歳)	※最低位	} (安全な都市)
・生産年齢人口割合	70.0(平均65.7)	※最高位	
・老年人口割合	16.8(平均21.2)	※最低位	} (安全な都市)
・刑法犯認知件数	7.3(平均11.5)/1,000人	※第19位	
・交通事故発生件数	257.8(平均522.4)/10万人	※最低位	

# 14 地域包括ケアシステムの必要性

## 【全国的な状況】

- 少子高齢化の進展、人口減少社会への突入
- 核家族化の進行、生涯未婚者の増加などに伴う家族構成の変化
- 健康寿命と平均寿命の格差
- 社会保障費の増大

## 【川崎市の状況】

- 現時点では若い都市
- 今後の急激な高齢化
- 多様化・高度化する住民ニーズへの的確な対応が求められている

## 【住民ニーズ＝住民の身近な課題】

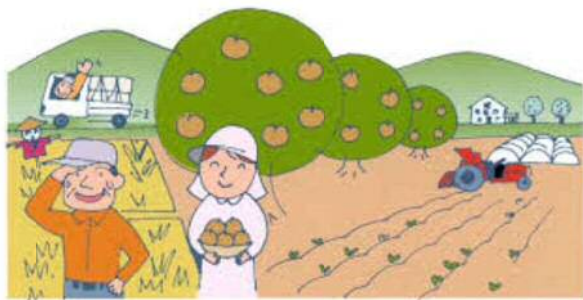
- ・ 健康状態 認知症 うつ ひきこもり
- ・ 子育て環境、育児不安
- ・ 家族の介護問題
- ・ 老後の不安(医療・生活)
- ・ 生活上の安心、安全 など

## 「未曾有の超高齢社会」の到来

医療、介護、介護予防、住まい及び自立した日常生活の支援が包括的に確保される体制である「地域包括ケアシステム」の構築が必要

# 15 地域の実情に応じた仕組みが必要

自治体によっても人口や高齢化率、住民意識は異なる。



地方



都市部

# 16 川崎市の実情に応じた取組み

川崎市の実情に応じた「ご当地システム」として、地域包括ケアシステムを構築していくことが重要



本市としての基本的な考え方を示した「川崎市地域包括ケアシステム推進ビジョン」を地域全体で共有し、今後、具体的な行動につなげていく

# 17 推進ビジョンの構成

一生住み続けたい最幸のまち・川崎をめざして

## 【基本理念】

川崎らしい都市型の地域包括ケアシステムの構築による誰もが住み慣れた地域や自らが望む場で安心して暮らし続けることができる地域の実現

## 基本的な5つの視点

### 1 【意識の醸成と参加・活動の促進】

地域における「ケア」への理解の共有とセルフケア意識の醸成

### 2 【住まいと住まい方】

安心して暮らせる「住まいと住まい方」の実現

### 3 【多様な主体の活躍】

多様な主体の活躍による、よりよいケアの実現

### 4 【一体的なケアの提供】

多職種が連携した一体的なケアの提供による、自立した生活と尊厳の保持の実現

### 5 【地域マネジメント】

地域全体における目標の共有と地域包括ケアをマネジメントするための仕組みの構築



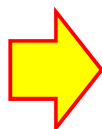
## 18 地域包括ケアシステムのテーマ

地域包括ケアシステムは、「誰もが安心して暮らし続けることができる地域を実現」していくこと

「安心した暮らし」を送るための要素としては、衣食住のほか、保健・医療・福祉サービスをはじめ、いきがい(趣味・娯楽・社会貢献等)や、地域の中での交流(あいさつ・支え合い等)、防犯・防災などが重要である。

地域包括ケアシステムとは「個人の生活」を守る取組であり、個人が安心して生活できる地域を創っていくための「地域づくり」であるといえる

地域包括ケアシステム  
のテーマ



「生活」と「地域づくり」

## 19 地域包括ケアシステムの対象者

### 高齢の方

要介護認定者

36,645人

(平成28年3月末現在)



## 20 地域包括ケアシステムの対象者

# 障害のある方

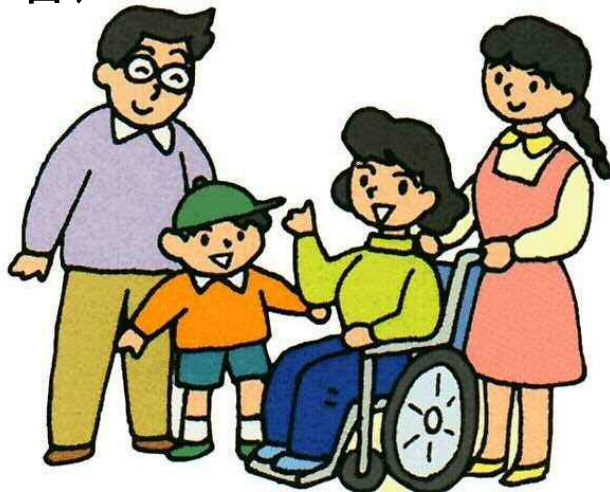
障害児・者（手帳所持者）

身体 約36,500人

知的 約 8,900人

精神 約10,500人

（平成28年4月現在）



## 21 地域包括ケアシステムの対象者

# 子育て中の親

ひとり親世帯数

母子家庭・・・7,007世帯

父子家庭・・・1,297世帯

（平成22年国勢調査）



## 2 2 地域包括ケアシステムの対象者

# 子ども

学齢前児童人口 81,418人  
保育所入所児童 22,364人  
幼稚園園児数 20,943人  
(平成27年)



## 2 3 地域包括ケアシステムの対象者



**全ての地域住民**

70万世帯 148万5千人





## 24 地域包括ケアシステムを推進するためには

# 自助

- ⇒健康づくりや介護予防などの自発的な取組
- ⇒地域活動への参加や近隣住民との交流



## 25 地域包括ケアシステムを推進するためには

# 互助

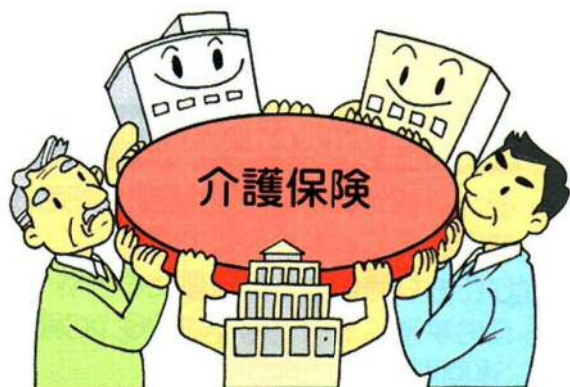
- ⇒近隣住民やボランティア団体などによる助け合い



## 26 地域包括ケアシステムを推進するためには

# 共助

⇒介護保険制度や医療保険制度など



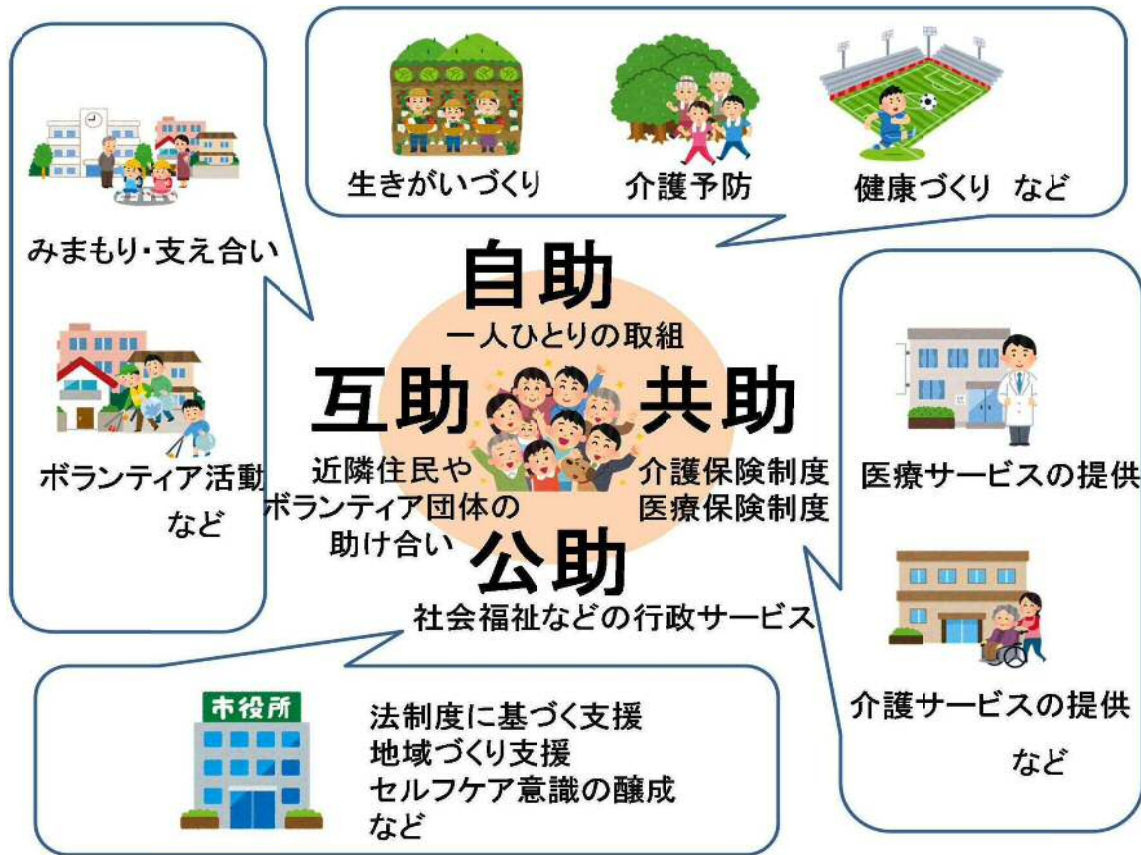
## 27 地域包括ケアシステムを推進するためには

# 公助

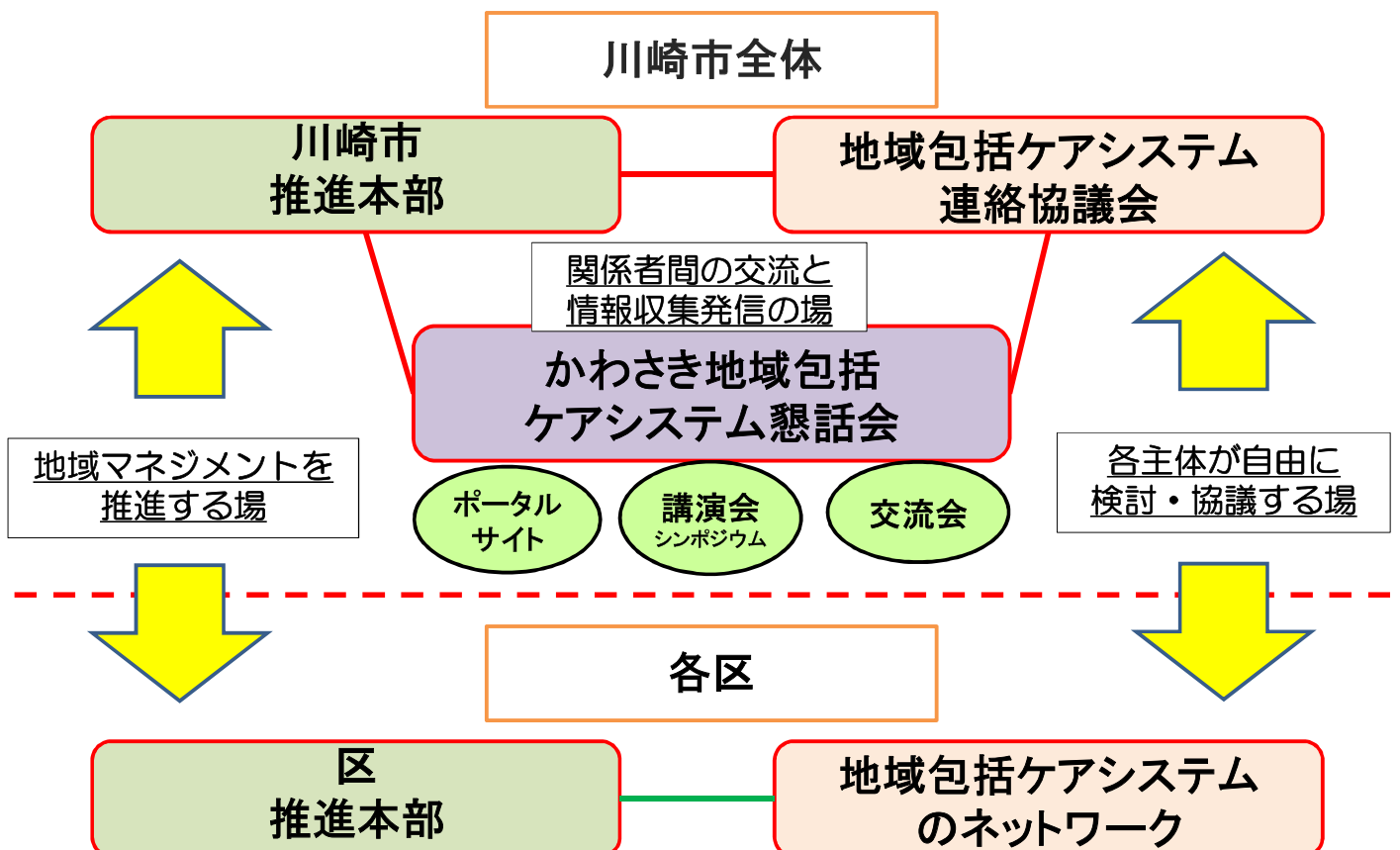
⇒社会福祉などの行政サービス



## 28 地域包括ケアシステムを推進するためには



## 29 地域包括ケアシステムの推進体制

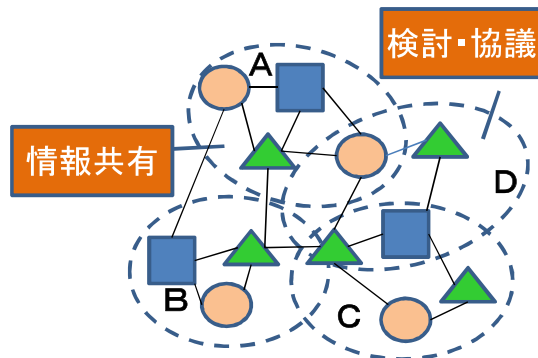




# 30 地域包括ケアシステムの推進体制

## 区における地域包括ケアシステムのネットワーク組織化

《全ての地域住民を対象に様々な分野・組織のネットワーク化》



- 情報共有
- 検討・協議

⇒既存の様々な協議体を活用してネットワーク化を図り、それぞれの特性・特色を活かして、「情報共有」や「検討・協議」を行う

# 31 地域みまもり支援センター

## 各区保健福祉センター

真に市民から求められる区役所体制へ！

## 地域みまもり支援センター

地域ケア推進担当

地域支援担当

保育所等・地域連携

学校・地域連携

児童家庭課、高齢・障害課、保護課、衛生課

区内をいくつかの地域に分け、それぞれ複数名の保健師を配置し、地域課題を把握するとともに、「個別支援の強化」と「地域力の向上」を図る。

積極的に地域に出向きます！



## 3 2 多職種連携による重層的な相談支援

地区担当の  
「保健師」をはじめ、  
栄養士や心理職、  
社会福祉職などの  
専門多職種が連携  
して対応する



すべての地域住民

## 3 3 地域みまもり支援センターの事例①

一人暮らし高齢者 Aさん（86歳）の場合



- 親族などの身寄りもなく、一人暮らし
- 団地の5階に住んでいる
- 足腰が弱くなっているため、買い物にも行けない状態

## 3 4 地域みまもり支援センターの事例①



- 民生委員の方が、Aさんのお宅で新聞紙が溜まっていることに気が付く



(民生委員)

- 「地域みまもり支援センター」、「地域包括支援センター」に連絡

## 3 5 地域みまもり支援センターの事例①



- 地区担当の保健師や地域包括支援センターが、Aさんのお宅を訪問し状況を確認

- 必要なサービスの申請・利用や、地域活動への参加につなげる

地域との緊密な関係を築く

⇒ 地域課題へ **迅速な** 対応ができる



## 3 6 地域みまもり支援センターの事例②

虐待を受けている Bくん（5歳）の場合



Bくん（5歳）



母親（うつ病）

- 1日中公園で過ごしている

- 洋服は汚れ、周囲の子に乱暴することも

- 母親はうつ病でほとんど外出できない状態

## 3 7 地域みまもり支援センターの事例②



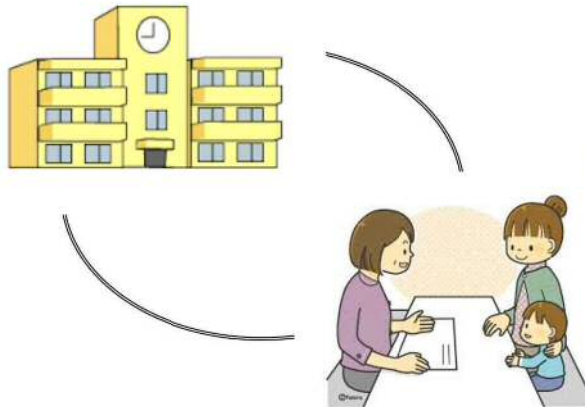
もしかしたら…

- Bくんの情報を得た地区担当の保健師は、児童虐待の恐れがあることに気が付く

- 栄養士、社会福祉職などの他の職員と連携し、Bくんのお宅を訪問し、状況を確認



## 38 地域みまもり支援センターの事例②



- 保育園・教育委員会などの関係部署や児童相談所などの関係機関と相談の上、Bくんの虐待や母親の状態に、連携して対応

関係部署や関係機関との横断的な連携  
⇒従来の組織体制では対応しきれなかった地域課題にも**柔軟**に対応できる

## 39 地域みまもり支援センターの事例③

認知症状が出はじめた夫Cさん（80歳）と  
障害を持つ妻Dさん（75歳）の老老介護の場合



- 夫Cさんは、最近、認知症状が出はじめた
- 妻Dさんは、身体障害を持つ
- 老老介護で、日常生活にも苦勞している

## 4 0 地域みまもり支援センターの事例③



● 町内会役員が「地域みまもり支援センター」や「地域包括支援センター」に相談

● 地区担当の保健師が、C・Dさん夫妻のお宅を訪問し、状況を確認



## 4 1 地域みまもり支援センターの事例③



● 活動支援をしている地域活動団体に情報提供し、生活支援などを実施

住民同士が互いに支え合えるような  
ネットワークづくり  
⇒地域課題にきめ細やかな対応ができる

# ～最後に～ 私たち一人ひとりができることは

例えば、考えられることとして

まず、生きがいと健康を意識して

自分の周りを、「もうちょっとだけ」気にすると・・・

自分がしてほしいこと、隣近所だからできること・・・

支え合いの「参加」、「活動」による生きがいと健康の獲得

2016年 現在・・・

2025年 9年後・・・

2060年 44年後・・・

私たちのこれから・・・  
親は？  
子どもたちは？

御清聴ありがとうございました

